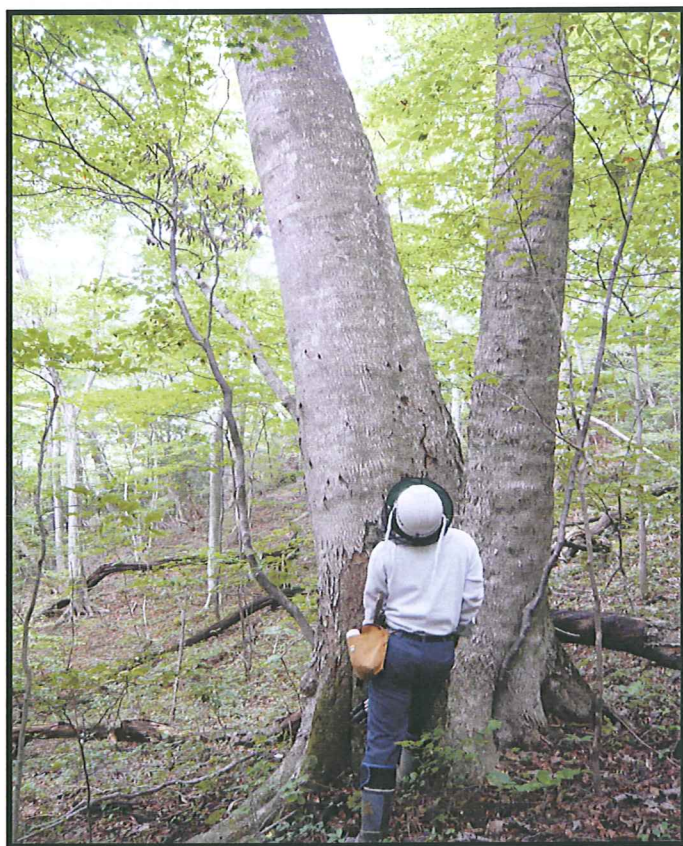


8. イヌブナ (納戸のイヌブナ)



直径 1 0 0 c m



樹高 3 0 m

【解説】

現地は、前述のブナと同じ「和尚山温帯性植物群落保護林」内にある。ブナがシロブナと呼ばれるのに対し、イヌブナはクロブナともいわれる。通常両ブナは標高による棲み分けをしているが、ここではほぼ同じ標高に混在している。

ブナという字を漢字で書くと「櫨」と書くが、北海道黒松内町では自然環境への貢献など貴重な樹種であることから「櫨」と書き、町おこしをしている。

イヌブナはブナよりは材質が劣るため「イヌ」という字を頭に付けられたと云われているが、同様にイヌガヤやイヌシデ、イヌマキなど名付けられた木にとってはいい迷惑かもしれない。

同じ林内には、80cm級のものも生育している。

【所在地】

北茨城市関本町小川字和尚山国有林1013ね林小班内

北緯36°54'29" 東経140°35'52" 付近